

(3) 今日の研修会で学んだことを簡潔にまとめましょう。

子供の実態に合わせて、子供がくいつく授業スキルを試していきたいと思います。今までは主に提示の仕方に重点を置いていたが、指示の仕方・形態の持たせ方・発問のあり方にも力を入れていきたいと思います。

私のクラスに感情を上手にコントロールできる子供がいます。「大丈夫だよ」という受容の声のげや、上手にできたときの賞賛を大切にして向き合っていきたいと思います。

私は、学んだ内容ということより、粕谷先生の講演自体がとても学びやすいと感じた。私達、現場で働いている教員の悩みや不安にとっても共感的に話を下さり、かつそれを学校経営・生徒指導の観点から分かりやすく教えて頂き、とても勉強になった。

授業を行うにあたって、集団づくりがとても大切であるということが分かりました。また、授業の中でも集団づくりを行うための手立てがあるということも分かりました。

集団づくりにおいては、学級のルールやリレーションの確立、教師のリーダーシップが大切だと思いました。PM型のリーダーシップをとり、子供との信頼関係を築きながらルールを確立していきたいと思います。また、授業のための発問や授業の流れなどの工夫も大切だと分かりました。

授業における集団づくりでは、授業の中でルールやリレーションを確立し、学習規律を整えていくことが分かりました。教師の思いを伝えたり、子供たちに考えさせたりすることも大切だと分かりました。

これからは今日学んだことと生かして、ルールやリレーションを築きながら子供たちと関わっていきたいです。

ルールとリレーションの段階を2学期以降より上げていきたいと思います。また、授業の構成スキルや展開スキルについては、まだまだ自分自身意識していないことが多く、反省させられました。めあてを子どもと共につくり、授業をまた目指していきたいと思います。どうしてもやんちゃな子どもたちを前にすると権力型のリーダーシップを用いがちですが、より親しみやすく子どもを成長させる教師になりたいと思います。

私が担任している学級では、なかなか集中が続かない子供や不適切な行動をする子供が少なからずいます。でも、きちんとルールづくりをして、学級集団としての力を高めていくことができれば、段々とまとまりが出てくるのだと思いました。欲求を抑制する力が未発達な低学年なので、攻撃的な関わりをするのでなく、受容的に関わりをもつて、正しい行動を教えてあげることが大切なのだと思いました。